

研修施設登録用紙 病院総合医3団体共同事業

2025.7 ver

当院において、到達目標を満たす研修が可能である

☐

(✓チェックをしてください)

申請日

西暦

年

月

日

①施設の正式名称	フリガナ					
②病院管理者の氏名	フリガナ					
	氏名	姓	名			
③所在地	〒		-			
				都・道・府・県		
④病院総合医に関わる【研修担当医師】 ※1	フリガナ					
	氏名	姓	名			
	所属・役職					
	電話番号		-		-	内線
	e-mail ※3 必須					
④病院総合医に関わる【研修担当医師】 ※1	フリガナ					
	氏名	姓	名			
	所属・役職					
	電話番号		-		-	内線
	e-mail ※3 必須					
④病院総合医に関わる【研修担当医師】 ※1	フリガナ					
	氏名	姓	名			
	所属・役職					
	電話番号		-		-	内線
	e-mail ※3 必須					
⑤病院総合医に関わる【事務連絡】担当者・連絡者 ※2	フリガナ					
	氏名	姓	名			
	所属・役職					
	電話番号		-		-	内線
	e-mail ※3 必須					
⑥施設のホームページアドレス						
⑦自施設研修予定人数		人/年				
⑧他施設研修受け入れ可能人数 ※4		人/年	☐ 不可			

※1 研修者の評価を行う医師をご記入ください。

3名以上の場合は、このシートをコピーして④のみ記入してください。

※2 申請、研修者の登録、認定の申請、更新の申請などの受付開始のご連絡や、事務的な確認などの際のご担当者を記入してください。担当者が変更になる場合は、事務局まで必ずご連絡ください。

※3 必須。携帯電話のキャリアメールは不可とします。

※4 他施設からの研修者の受け入れが可能であれば、年間の人数を記入してください。

個人情報等の取扱いに関して

「病院総合医3団体共同認定」事業におきまして、下記により個人情報を利用させていただきたく、内容をご確認のうえ、ご承諾いただきますようお願いいたします。
なお、個人情報の取扱いについては、個人情報保護の観点から本会として万全の措置を取らせていただきます。

記

1.個人情報の利用目的について

個人情報の使用について日本病院会・全国自治体病院協議会・全国国民健康保険施設協議会は、ご提示いただいた氏名、住所、電話番号、性別、その他の個人に関わる情報(以下、個人情報等)を、「病院総合医3団体共同認定」に関する連絡、管理、認定証の作成に利用させていただき、承諾なく、他の目的には利用いたしません。

2.個人情報の委託について

日本病院会・全国自治体病院協議会・全国国民健康保険施設協議会は、「病院総合医3団体共同認定」事業に伴いお預かりした個人情報等を、以下のいずれかに該当する場合を除き、取扱いを委託することはありません。

- ①業務委託会社に対して、研修者の管理のために必要な範囲で個人情報等の取り扱いを委託する場合
- ②連絡物の発送を宅配業者に委託する場合
- ③認定証の作成を印刷業者に委託する場合
- ④法令の定めにより提供を求められた場合

3.個人情報の提供の任意性について

個人情報の提供がされない場合、参加することができません。

4.個人情報の開示等について

日本病院会・全国自治体病院協議会・全国国民健康保険施設協議会は、個人情報等の開示、変更、削除の求めがあった場合には、ご本人であることをご確認させていただいたうえで、すみやかに対応いたします。
また、申請・登録後は、個人情報等を含む申込書類一式は原則、返却いたしません。

以上

個人情報管理責任者

「病院総合医3団体共同認定」事業に関する個人情報等の取扱いについて

☐ 同意します ☐ 同意しません

同意日 西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日

病院管理者 氏名 _____

研修修了証明書（病院総合医 3 団体共同認定）

病院総合医養成委員会 殿

年 月 日

研修者番号

研修者施設名

研修者氏名

生年月日

上記研修者が所定の要件を満たし、全過程を修了したことをここに証します。

施設名 ○○病院

施設住所 〒

TEL

Email

代表者氏名

印（※押印または自署）

【到達目標】チェックリスト

様式4

病院総合医 3団体共同認定

施設名

研修者氏名	研修担当医師氏名	管理者氏名
-------	----------	-------

1. 臨床能力	評価		
経験する内容	自己評価 ・経験	研修担当医師	管理者
病院において多様な病態を呈する患者に、柔軟に対応できる幅広い知識や診断・治療によって包括的な医療を展開・実践できる。 ※別表（シート2）を参照			
患者へ適切な初期対応を行い、専門的な処置・治療が必要な場合には、然るべき専門診療科や多職種へ速やかな相談・依頼を実践できる。 ※別表（シート2）を参照			
複数の診療科、関係する多職種と連携し、全人的な対応ができる。			
患者の安全を最優先に考え、その実現を目指す「安全文化」を醸成することができる。			
組織全体を俯瞰した医療安全管理に関する体制の構築に参画し、委員会等の各種活動の円滑な運営を支援することができる。			
院内感染発生時の迅速な対策を遂行するためのサーベイランスと対策計画の構築や日頃の院内感染対策指針の見直しと立案をする。			
感染対策に関係する多職種の役割を理解すると共に、感染制御に関する専門的知識を基にそれらを統合し、各職種の専門性を発揮し協働で効果的対策を実践することができる。			
新興感染症等の伝染性感染症が発生した際の業務を担うことができる。			
総合的・俯瞰的に病院機能の改善をはかることができ、かつ病院組織の運営に積極的に関与できる。			

2. 社会性	評価		
経験する内容	自己評価 ・経験	研修担当医師	管理者
多職種協働による患者中心のチーム医療活動を促進・実践できる。			
患者や家族が抱えるさまざまな問題や課題に対して多職種で真摯に向き合いながら、患者の生活の視点に立った包括的な医療とケアを積極的に実践することができる。			
多職種から構成される、栄養サポートチーム（NST）、感染対策制御チーム（ICT）、呼吸ケアチーム（RST）、緩和ケアチーム（PCT）等のリーダー的役割を担い、医療の質の維持・向上と心身ともに健やかな生活が送れるようにサポートすることができる。			
高度急性期病院で受けた治療後の患者の治療を継承するとともにその疾病や治療によってもたらされた身体環境の悪化に対する治療を総合的に行うことができる。			
療養中に状態が悪化し入院となった場合でも、継続的な治療・ケアとリハビリテーションを行うことで、疾病前の状態に回復させ、患者が施設や在宅療養に移行できるようにQOLを回復することに努めることができる。			
慢性期医療に関わる病院（病棟）の機能を十分に理解し、診療科にとらわれない幅広い知識と、リハビリテーション・看護・介護・栄養などの職種横断的な知識を用いて、患者が持つ複数の疾患、社会的背景、生活面などを考慮した医療とケアを行うことができる。			
地域の医療機関（かかりつけ医等）や保健・医療・福祉・介護サービスと連携して、必要な地域住民に、必要なサービスを提供することができる。			
地域包括ケアシステムや日本全体の医療の問題や課題を考慮した病院運営を実践できる。			
住まい・医療・介護・予防・生活支援が包括的に提供される地域包括ケアシステムの中心的役割を担い、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるように支援を行うことができる。			

3. 人間性	評価		
経験する内容	自己評価 ・経験	研修担当医師	管理者
個々の病態、臓器別疾患への対応でなく、患者自身の訴えや問題に向き合う姿勢をもって全人的医療を行う。			
各職種と連携しながら生活状況・健康状態などを包括的に管理し、生活の場までつなぐためのケアマネジメントが実践できる。			
精神疾患を合併する患者や認知症患者においても尊厳を守り、適切な医療を提供する。			
せん妄・不眠・転倒・転落・排泄障害・栄養障害・褥瘡といった高齢者特有のケアに対して対応することができる。			
入院中の高齢患者の認知症発症を遅らせるとともに、希望を持って日常生活を過ごせる社会環境を目指し、認知症の人やその家族の視点を重視しながら共生と予防を推進していくことができる。			
高齢者が住み慣れた地域で安心して生活し続けることを目指し、院内外での多職種と連携して、加齢に伴う身体・認知機能の変化や生活背景・生き方に関する意向を踏まえた高齢者ケアを実践することができる。			

4. 倫理観	評価		
経験する内容	自己評価 ・経験	研修担当医師	管理者
生命倫理・医療倫理に関する基本的知識を身に付ける			
医療倫理の4原則である、自律性の尊重、無危害、善行、公正を十分に理解する。			
安楽死問題、患者情報についての守秘義務、インフォームド・コンセント、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）、医療的な利益相反、などの行動原則を理解できる。			
医療現場における法規・倫理・社会・心理・文化・宗教的な諸問題を的確に認識し、医療・ケアチームとして適切かつ迅速に対応することができる。			

【経験が必要とされる症候・疾患・病態】

※多様な疾患に対応できる幅広い知識やスキルを習得するために、
以下に示す症候・疾患・病態を経験することが望ましい。

●以下に示す症候に対し、臨床推論に基づく鑑別診断および、他の専門医へのコンサルテーションを含む初期対応を適切に実施し、問題解決に結びつける。

全身倦怠感、呼吸困難感、身体機能の低下、不眠、食欲不振、体重減少・るいそう、体重増加・肥満、浮腫、リンパ節腫脹、発疹、黄疸、発熱、頭痛、めまい、失神、胸痛、動悸、咳・痰、喀血、咽頭痛、誤嚥・誤飲、嚥下困難、吐血・下血、嘔気・嘔吐、胸やけ、腹痛、便秘異常、褥瘡、背部痛、腰痛、関節痛、歩行障害、四肢のしびれ、肉眼的血尿、排尿障害（尿失禁・排尿困難）、乏尿・尿閉、多尿、不安、気分の障害（うつ）、外傷（熱傷含む）、緊急処置を要する病態（ショック、意識障害、けいれん重積、心肺停止 等）

●以下に示す疾患・病態について、必要に応じて他の専門医・医療職と連携をとりながら、適切なマネジメントを経験する。

貧血、出血傾向、脳血管障害、神経変性疾患、一次性頭痛、皮疹、皮膚感染症、心不全、狭心症・心筋梗塞、不整脈、高血圧症、呼吸不全、呼吸器感染症（重症肺炎・膿胸等）、消化管・消化器系疾患、腎不全、全身疾患による腎障害、腎・泌尿器科系疾患、耳鼻咽喉科系疾患、眼科系疾患、糖代謝異常、脂質異常症、アレルギー性鼻炎、認知症、不眠症、うつ病、ウイルス感染症、敗血症、骨折、高齢者総合機能評価、老年症候群、緩和ケア

レポート(800 字程度)

総合医としての「経験と実績および今後の方向性・抱負について」

提出日 西曆 年 月 日

研修者番号	
研修者施設名	
研修者氏名	
タイトル「 」	

推薦書（病院総合医 3 団体共同認定）

病院総合医養成委員会 委員長 殿

年 月 日

研修者番号

研修者施設名

研修者氏名

生年月日

上記研修者については、病院総合医としての能力を十分に発揮できると考えられるため、規定期間を短縮しての認定を推薦します。

施設名 ○○病院

施設住所 〒

TEL

Email

代表者氏名

印（※押印または自署）